

<はじめに>

福岡市・福津市・北九州市において、乳幼児メディア接触状況調査を行ったので概要を報告する。(乳幼児健康審査時にアンケートによる調査、表1に地域別健診別有効回答数を示す)。

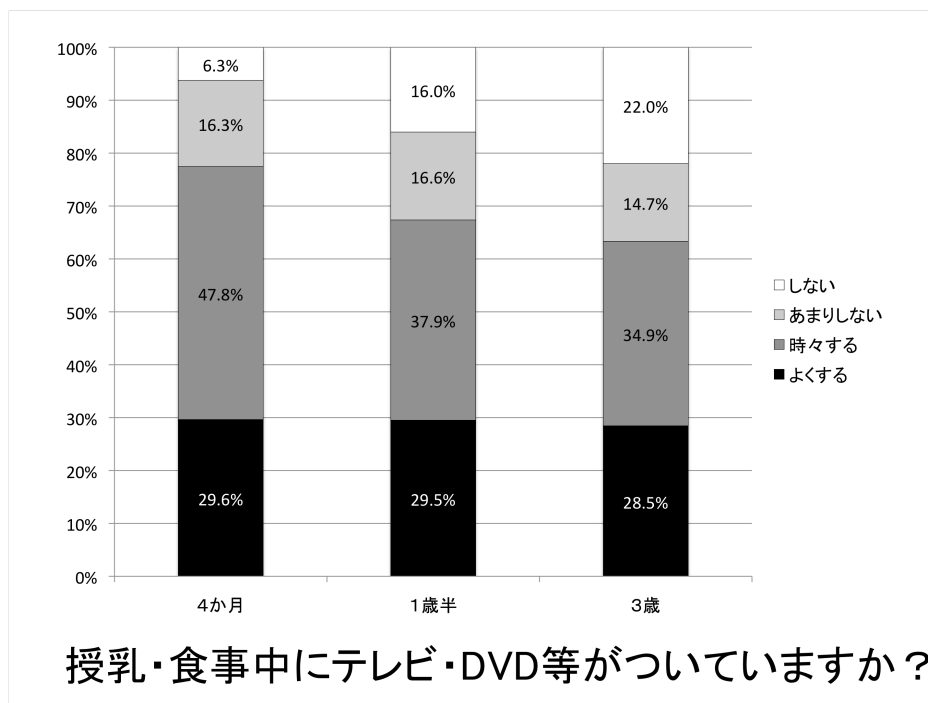
表1 地域・健診別有効回答数

地域 (調査期間)	4か月健診	1歳半健診	3歳健診
福岡市 (H22.1~2)	1083	1015	915
福津市 (H22.1~3)	102	108	107
北九州市 (H22.3~5)	351	353	321
合計	1536	1476	1343

<結果>

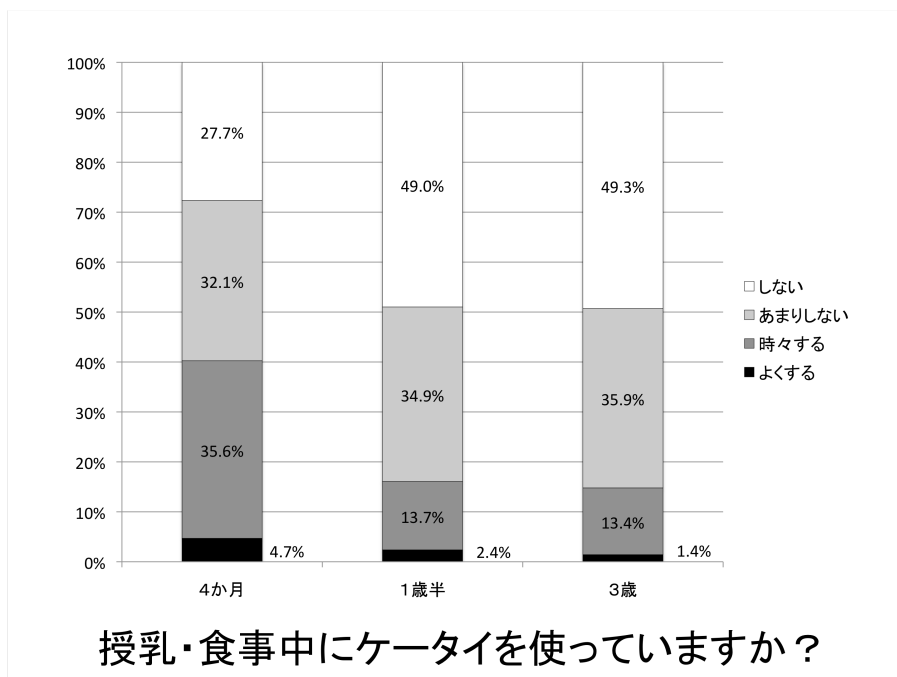
1. 授乳・食事中のメディア接触状況

(1) テレビ・DVD等の視聴 (図1)



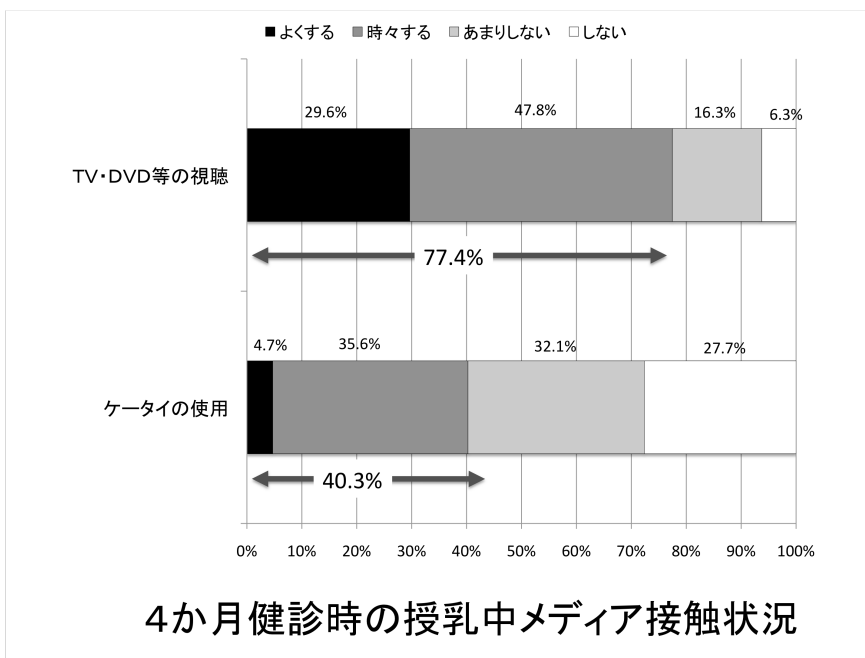
“よくする”と“時々する”を答えた割合は、4か月健診時には77.4%、1歳半では67.4%、3歳では63.4%であった。

(2) ケータイ使用 (図2)



“よくする”は全年齢で5%未満と少ないものの、“時々する”を加えると、4か月では40.3%、1歳半で16.1%、3歳で14.8%であった。

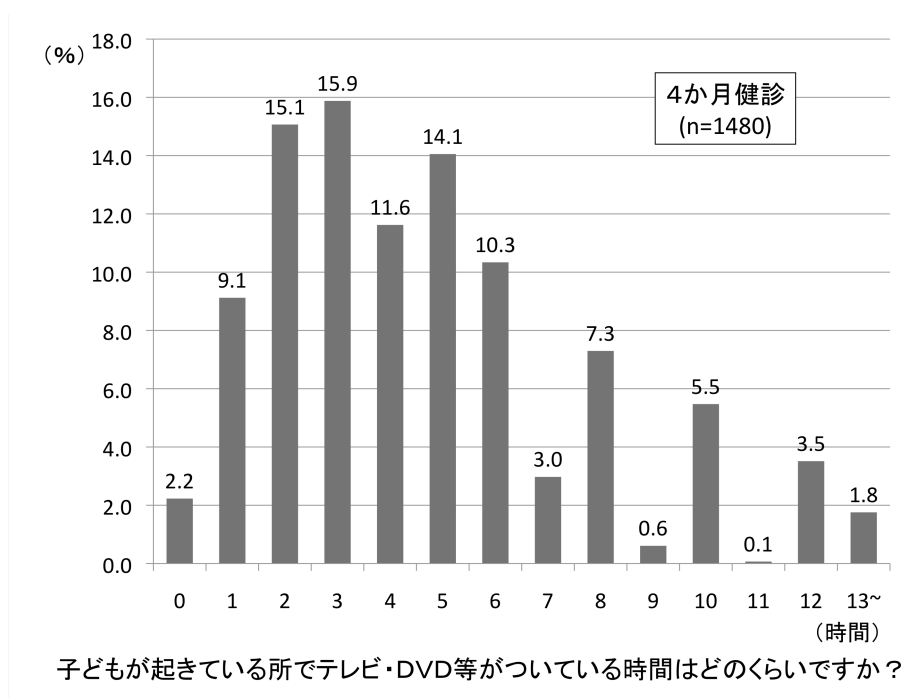
(3) 授乳中のメディア (図3)



授乳中すなわち4ヶ月健診時のメディア接触状況は、“よくする”と“時々する”を答えた割合はテレビ・DVD視聴が77.4%、ケータイ使用が40.3%であった。

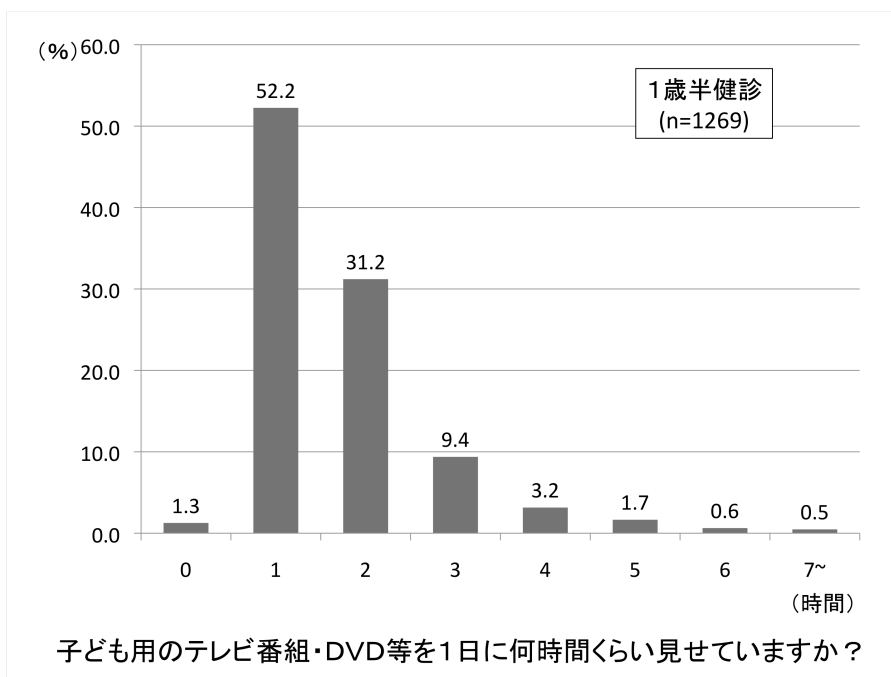
2. メディア接触状況

(1) 4か月 (図4)



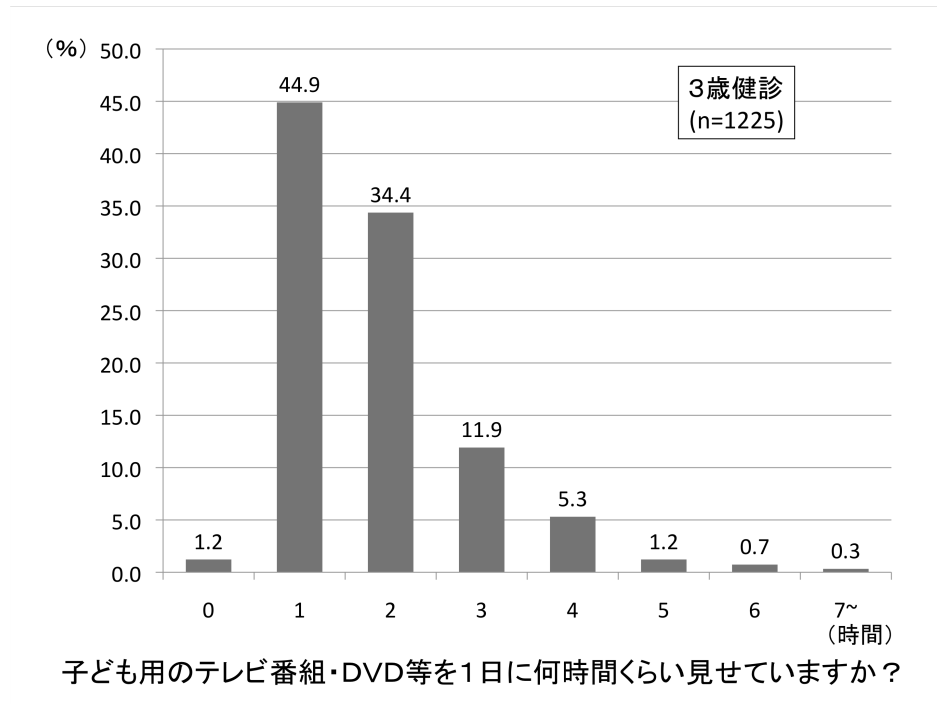
2時間までが26.4%、3～4時間が27.5%、5～6時間が24.4%、7時間以上が21.8%であった。

(2) 1歳半 (図5)



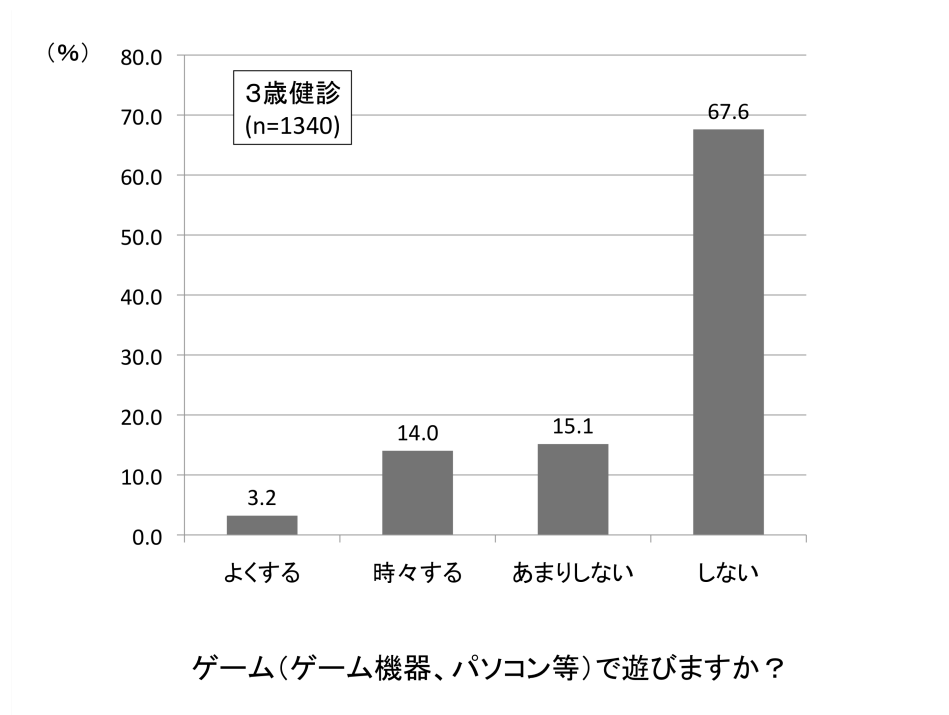
1時間までが53.5%、2～3時間が40.6%、4時間以上が6.0%であった。

(3) 3歳 (図6)



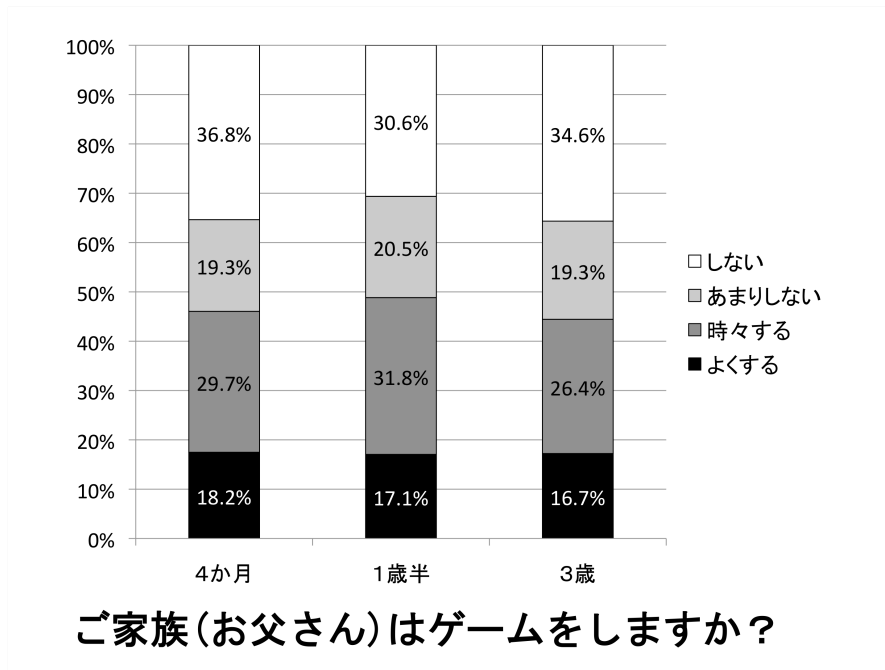
1時間までが46.1%、2～3時間が46.3%、4時間以上が7.5%であった。

(4) 3歳時のゲーム (図7)



3歳時で“よくする”と“時々する”を答えた割合が17.2%に見られた。

3. ご家族のゲーム (図8)

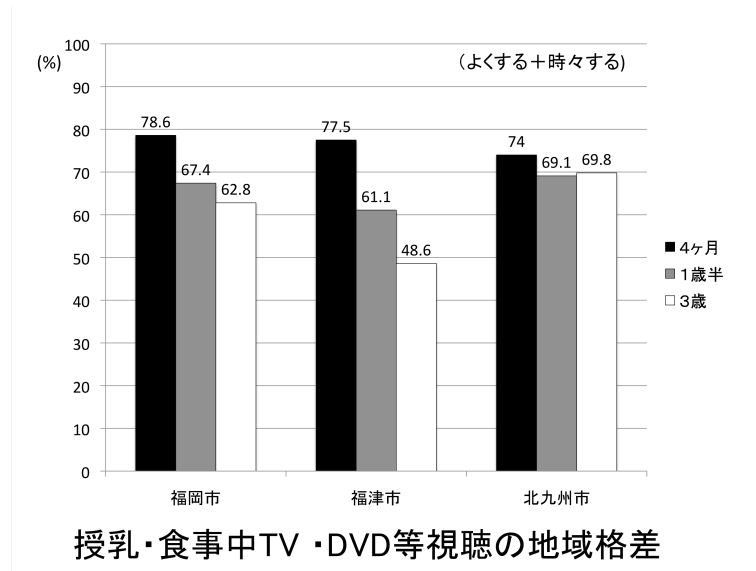


よくする”と“時々する”を答えた割合は、4か月健診時には47.9%、1歳半では48.9%、3歳では43.1%であった。

4. 地域差

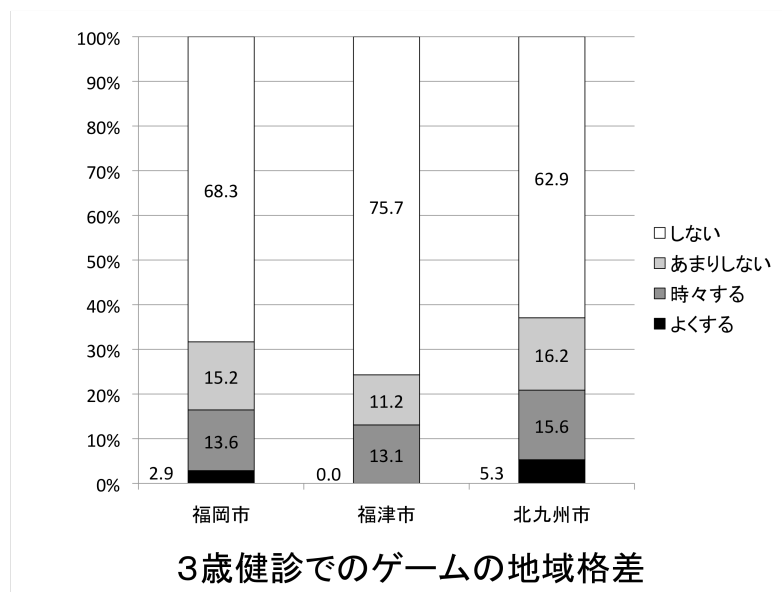
福津市が福岡市・北九州市と比べてメディア接触が統計学的に有意に少ない結果であった（3歳の食事中視聴、こどものゲーム、等）

(1) 授乳・食事中のメディア接触（図9）



3歳で食事中視聴を“よくする”と“時々する”を答えた割合は福津市で48.6%、福岡市62.8%、北九州市で68.8%であった。年齢が上がるにつれ、福岡市、福津市は視聴の割合が減少、北九州市はあまり変化がなかった。

(2) 3歳時のゲーム（図10）



3歳でゲームを“よくする”と“時々する”を答えた割合は福津市で13.1%、福岡市16.7%、北九州市で20.9%であった。

<まとめ>

1. 授乳中・食事中のテレビ・DVD, そしてケータイ

これまでの多くの報告と同様、授乳中・食事中にテレビ・DVD等がついている割合が高いこと、そして今回新たに授乳中・食事中にケータイを使用し始めている実態が明らかになった。特に授乳中のメディア接触が多い実態は、母子愛着に極めて大事な“見つめ合う”ことを妨げる危険性を有しており、出生前あるいは出産後早期からの啓発活動が必要と考えられる。

2. 3歳からゲーム、ご家族のゲーム漬け

3歳健診でゲームを始めている実態があきらかになった。全年齢を通じてご家族（お父さん）の多くがゲームをしており、この影響だと考えられる。乳幼児期のメディア漬け予防にはご家族（お父さん）へのメディアリテラシー教育が重要だと考えられる。

3. 地域格差、乳幼児期の啓発活動の効果

福津市は乳幼児健診の場でメディア漬け予防を積極的に継続的に実践している。その福津市のメディア接触が福岡市・北九州市に比べて明らかに少ないこと、年齢が進むにつれてその差が有意になることが明らかとなった。この事実は乳幼児期からの啓発活動の効果を示していると考えられる。「福津モデル」と呼ぶべき“乳幼児からのメディアリテラシー教育”をそれぞれの自治体が応用し全国に広がることが期待される。